

## 中国語母語話者の和製漢語の意味推測

メタデータ	言語: jpn 出版者: 明治大学国際日本学部 公開日: 2020-07-30 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 小森, 和子 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10291/21050">http://hdl.handle.net/10291/21050</a>

【献呈論文】

# 中国語母語話者の和製漢語の意味推測

## Semantic Inference of Wasei-Kango by Chinese Native Speakers

小 森 和 子

KOMORI, Kazuko

### 要旨

本研究は、日本語を学んだことがない中国語母語話者が未知の和製漢語をどのような意味だと推測するのか、正しく意味推測できるのかを検討するために、85語の和製漢語（漢字二字熟語）を用いて行った調査報告である。調査の結果、正しく推測できた語は約1割程度で、和製漢語の推測は全般的に困難であることが示された一方、「不潔」や「段階」などの語では、8割以上の中国語話者が正しく推測できており、推測の難易は語によって大きく異なることもわかった。また、分析の結果、和製漢語を構成する前項漢字か後項漢字のいずれかが接辞等の文法的機能を示す場合や、前項漢字と後項漢字が修飾関係の語構成の場合には、比較的正しく推測される傾向も示唆された。

キーワード：和製漢語、中国語母語話者、未知語、意味推測、語構成

### 1 はじめに

日本語の語彙は、約半数程度が漢語であると言われている（茂木・山口・丸山・田中，2005；沖森・木村・田中・陳・前田，2011；松下，2008等）。しかし、語種の中で漢語と分類されているものを精査すると、日中同形語のように、中国語からの借用語で日本語としても用いられている語、あるいは日本で作られて現代中国語でも使われている語だけでなく、日本由来で現代中国語には存在しない和製漢語もある。これまでの計量的な調査結果を総合すると、漢語の約7割程度が日中同形語であり、3割程度が和製漢語だと言えそうである（例えば、松下，2008；熊・玉岡，2014）。なお、本稿では、日本由来で現代中国語で用いられていない漢語を和製漢語と称する。

第二言語としての日本語の習得研究においては、和製漢語は、中国語を母語とする日本語学習者にとって、中国語に存在しないことにかえって注意が向きやすく、意図的学習の機会が増えるため、習得が容易であると言われており、それを裏付ける実証研究の結果も報告されている（加

藤, 2005; 小森・玉岡・斉藤・宮岡, 2014; 陳, 2003)。

しかし、これらの実証研究はあくまでも日本語学習者を対象としたものであるため、和製漢語が日本語学習の過程で習得しやすいということなのか、それとも、中国語母語話者にとって和製漢語そのものの意味の透明性が高く、時間をかけて学習しなくても習得しやすいということなのか、は不明である。また、和製漢語の習得研究に関する知見は、多くの場合、意味の異同が微妙な日中同形語の習得と比較して行われた調査結果に基づくものであるため、和製漢語の習得が容易であるとしても、それが何に起因するのかはほとんど議論されていない。

こうした背景を踏まえ、筆者の研究グループでは、日本語を学んだことのない中国語母語話者が中国語の知識だけでどの程度正しく和製漢語の意味が推測できるのかを、調査、分析した(小森・早川・三國, 2018; 小森, 2019)。その結果、3割程度の和製漢語は推測に成功できる可能性が示された。しかしながら、小森他(2018)や小森(2019)は、調査対象者が中国の大学の外国語学部の学生であったため、日本語が未習であると言っても、言語習得の適性の高い者であった可能性が否定できない。また、調査対象者数も40名程度で少なかった。

そこで、本研究では、調査対象語や調査対象者を増やす等して、小森他(2018)、小森(2019)の調査デザインに改良を加えて、和製漢語の意味推測について調査を行うこととした。本研究によって、和製漢語が中国語母語話者にとってどの程度意味推測が可能なのか、推測の難易に関わる語の特徴は何であるか等が検討されれば、中国語を母語とする日本語学習者の和製漢語の習得や教育に対して一定の知見を提供することが可能になるであろう。

## 2 先行研究

本章では、第二言語としての日本語の語彙習得研究における、和製漢語の意味推測の知見から、陳(2009)、崔(2015)、桑原(2012)を取り上げ、その成果を示す。さらに、これらの研究を踏まえて筆者らが行った研究(小森他, 2018; 小森, 2019)について、簡潔に述べる。なお、先行研究では文化庁(1978)の分類と命名に倣い、和製漢語をN語(「Nothing語」という造語の縮約)と称しているため、本章では、N語という用語も用いることとする。

陳(2009)は、N語を、推測が容易なN①語(「既婚」、「敗戦」、「強気」、「買物」と)、推測が困難なN②語(「我慢」、「欲張」、「派手」、「怪我」)に分類し、台湾の日本語未習者15名を対象に、推測した意味を中国語で記述させるという方法で調査を行った。調査の結果、N①語は15名中10名以上が正答できたのに対して、N②語は誰も正答できず、推測の難易が明確に示された。この知見は示唆に富むものであるが、推測の容易さのN①とN②の弁別が陳(2009)の内省に基づくものであるため、推測の難易に何が影響を及ぼしているのかについては、検討の余地が残っている。

崔(2015)では、中国語を母語とする日本語学習者が、未知の日中同形語やN語の意味推測を行う際、どのような手がかり(語彙的手がかり、文脈的手がかり)を用いているかを検討するために、日本語学習者61名を対象に、四者択一式(選択肢は中国語)で調査を行った。調査の

対象となったN語は(旧)日本語能力試験の1級語彙で、「荷札」、「凶作」、「反骨」、「新規」、「好物」、「漸次」、「平明」、「断行」、「受賞」、「答申」、「抜本」、「降板」、「稼働」、「専念」、「想定」の15語である。調査の結果、N語は、日中同形語に比べて、語彙の手がかりの使用率が低いこと、また、日本語習熟度の低いグループほど語彙の手がかりに依存しやすいことが示された。この結果は大変興味深いものではあるが、学習者を対象とした調査では、語彙的な手がかりが中国語の知識によるのか、日本語の知識によるのか、それがどのような語に対して有効であるのか、明らかでない。また、対象としている語を精査すると、使用頻度が低い語(「荷札」、「平明」、「断行」)や、接辞を付加して用いるのが一般的な語(「漸次」、「抜本」)もあり、対象語の精査が期待される。

桑原(2012)は、漢字圏の学習者を対象とした研究ではないが、非常に示唆に富んでおり、参考になる。非漢字圏の学習者3名を対象に、計200語の漢字二字熟語(N語以外も含まれる)を単体で提示し、推測した意味を記述させるという方法で調査を行ったところ、非漢字圏学習者は前項漢字と後項漢字を統語的に分析し、どちらが意味の主要部であるかを考えたり、漢字の既有知識を用いたりすることが明らかになった。例えば、ある調査対象者が「破線」を推測する場合、「破る」が既知であり、これが動詞で意味の主要部になると考え、「線を破る」と推測するという方法である。非漢字圏学習者であっても、このように語構成を踏まえて意味推測を行うのであれば、中国語母語話者も同様の推測過程を経ると予想される。

最後に、小森他(2018)、およびその追加分析を行った小森(2019)を簡潔に示す。まず、小森他(2018)では、中国の外国語大学に入学したばかりの1年生で日本語が未習の42名を対象に、小森・早川・李・玉岡(2017)の日中対照漢字二字熟語データベースから抽出した(旧)日本語能力試験出題基準の4級から2級までの74語を用いて、推測した意味を中国語で記述してもらうという方法で、調査を行った。74語については、桑原(2012)の示唆を踏まえ、四種類の語構成(並列関係、修飾関係、客体関係、その他)に分類し、推測に語構成の要因がどの程度関わるかを分析した。分析の結果、全体としては3割程度の語で正しく意味推測ができていたこと、語彙の難易度(出題基準の級)が低い語ほど推測がしやすいことがわかった。また、語構成による違いはあまりなかったが、並列関係の語は通過率が高い傾向があることが示された。

また、小森(2019)では、中国語の知識がどの程度推測に関わるかを質的に分析したところ、対象語とその中国語相当語が単漢字レベルで一致し、その一致した単漢字だけで対象語全体の意味に相当する場合は、推測が容易であることがわかった。例えば、対象語の「遅刻」の場合、中国語相当語が『迟到』で、「遅」と『迟』が一致している。『迟』の意味の中に「<比规定的时间或合适的时间靠后>(決められた時間や適切な時間よりも遅くなる)」があり、これがまさに「遅刻」の意味である(以下、簡体字には『』を付して示す)。このように、中国語には、単漢字レベル、すなわち、形態素レベルで日本語の漢字二字の和製漢語全体の意味を表すものが少なく、そのような和製漢語は推測が容易だということである。

しかしながら、小森他(2018)や小森(2019)の調査対象者は数が少なく、また、日本語未習とは言っても、外国語大学の学生で言語適性が高い可能性があることや、対象語の中に中国でも

近年見かけるようになった語も含まれていることから、対象語の精査等、再考の余地もある。

### 3 研究課題と調査方法

#### 3.1 研究課題

先行研究の知見や筆者らの研究に残された課題などを踏まえ、本研究では、以下の2点を課題とする。

課題1. 日本語を学んだことがない中国語母語話者はどの程度正確に和製漢語の意味を推測できるのか、

課題2. 中国語母語話者は、和製漢語の意味をどの程度推測しやすいと判定するのか。

#### 3.2 課題の検討方法

課題の検討方法は、小森他(2018)、小森(2019)に倣う。具体的には、課題1は、調査対象語(例えば、「財布」)を簡体字(『財布』)で示し、推測した意味を中国語で書いてもらうという記述式のテスト(以下、意味推測テスト)で検討する。課題2については、上記の意味推測テストの終了後に、簡体字で記した調査対象語とその中国語相当語をペアで示し(『財布』—『钱包』)、調査対象語の意味がどのぐらい推測しやすいかを、5段階で評定してもらう(以下、推測のしやすさの評定)。なお、調査対象語の中国語相当語をどのようにして定めるか、については、次章で述べる。

### 4 調査対象語

#### 4.1 調査対象語の抽出

調査対象語の抽出方法も、基本的には、小森他(2018)、小森(2019)と同様の手順で行った。具体的には、小森他(2017)の日中対照漢字二字熟語データベース(以下、データベース)を一次資料とし、以下の手順で和製漢語を同定し、本研究の対象語を抽出した。

まず、このデータベースの中で、『現代汉语词典(第6版)』にも『现代汉语规范词典(第3版)』にも採録がない語は548語であった。小森他(2018)と小森(2019)では、この548語を和製漢語と考え、その中から語義数や使用頻度等の基準に基づいて調査対象語を抽出した。しかし、中国語母語話者や中国語のコーパスで確認すると、『現代汉语词典(第6版)』や『现代汉语规范词典(第3版)』に採録があっても、現代中国語ではほとんど使用されていない語も複数あることがわかった。そこで、本研究では、和製漢語か否かについて、中国語の辞書における採録を第一次基準とせず、一次資料の全2,078語に対して、日本語を学んだことがない中国語母語話者3名に、中国語で使用されているか否かの判定を行ってもらうこととした。その結果、2名以上が中国語で使用されていない和製漢語だと判断した語は全部で562語あることがわかった。

この562語を和製漢語と同定し、この中から日本語義が三つまでの語に絞り、さらに、「一日」のような数詞の類、「県庁」や「上京」のような日本の社会文化的知識と関わるような語、「時々」や「軽々」のように同じ漢字の繰り返しによる語、さらに中国語の古語で使用される同形語等を除くと、以下の85語になった。そこで、本研究では、この85語を調査対象語とすることとした。

切手、交番、時計、荷物、半分、病気、風呂、部屋、弁当、屋上、  
切符、格好、急行、下宿、手間、退院、息子、割合、安易、植木、  
王女、改札、勝手、我慢、為替、気配、今回、支店、祝日、真剣、  
役人、段階、貯金、月日、強気、余分、都合、発想、風船、踏切、  
包丁、真似、大変、無料、派手、免許、面倒、役者、騒音、厄介、  
行方、余計、手品、乱暴、両替、割引、上着、子供、大切、見事、  
立派、案内、彼女、気分、残念、承知、背中、駄目、返事、相手、  
芝居、親類、寸法、粗末、退屈、役割、頂上、仲間、苦手、歯車、  
不潔、見本、郵便、一緒、今度

## 4.2 調査対象語の中国語相当語の決定

前述のように、課題2を検討するために、推測のしやすさの評定では、簡体字で記した調査対象語とその中国語相当語をペアで示し（『財布』—『钱包』）、調査対象者に意味推測のしやすさを評定してもらう。そのためには、調査対象語（『財布』）の中国語相当語（『钱包』）を定める必要がある。

本研究では、中国人留学生の大学院生4名（専門は中国語学（1名）、日本語学（3名））に、調査対象語の日本語のリストを配布し、中国語相当語を記述してもらい、3名以上が一致した語を中国語相当語とすることにした。ただし、2名しか一致しなかった場合には、4名が協議をして決定した。

## 5 調査概要

調査は2018年12月に中国国内の理系の大学で実施した。調査対象者は日本語の学習経験がない中国語母語話者で、学部1年生と2年生の94名である。

はじめに、記述式の意味推測テスト（調査1）を実施した。調査対象語（簡体字で表記）が日本語に存在する語であることを説明した上で、それぞれどのような意味だと思うか、推測した意味を中国語で記述するよう教示した。

その後、意味推測のしやすさに関する評定調査（調査2）を行った。この調査では、先に行った意味推測テストの調査対象語とその中国語相当語のペア（『財布』—『钱包』）を見て、調査対象語の意味がどのくらい推測しやすいかを、5段階（1：非常に推測しにくい、2：推測しにくい、

3: どちらとも言えない, 4: 推測しやすい, 5: 非常に推測しやすい) で評定してもらった。

## 6 結果と考察

### 6.1 意味推測テストの結果

意味推測テストは中国語による記述式であったので、調査対象語の各語について94名全員の解答を集計した。全85語の解答のバリエーションは、1語につき平均39.19種類(標準偏差11.79)であった。小森(2019)で42名について行った調査では、1語につき平均18.39種類(標準偏差6.88)であったのと比較すると、二倍以上である。これは、未知語の意味推測は調査対象者が増えると推測が多様化するためだと考えられる。

解答のバリエーションが最も多かったのは、「案内」で62種類、次いで「面倒」が60種類であった。いずれも正答率は0%であった。一方、バリエーションが最も少なかったのは「植木」で10種類、次いで「段階」が13種類、「不潔」が16種類であった。このうち、「段階」と「不潔」は推測正答率が第二位、第一位の語であった(それぞれ、84%、89%)であったが、「植木」は正答率は0%で誰も正しく推測できなかった。小森(2019)では、推測正答率の高い語は推測のバリエーションが少なく、反対に推測正答率が0%の語は調査対象者によって推測がばらばらで、バリエーションが多いという傾向があった。すなわち、本研究の結果は小森(2019)と概ね一致するものの、「植木」については異なる傾向を示したということである。

次に、推測正答率を求めるために、意味推測の解答一つひとつについて、その推測が正しいと言えるかどうかを判定した。判定においては、推測の対象となる日本語と、調査対象者の実際の解答の中国語を一つずつペアにして、同義と言えるかどうかという観点から判定した(同義性判断)。例えば、調査対象語の「不潔」に対する意味推測の解答には、例えば、『不干净』(「清潔でない」の意)、『不贞洁』(「貞操観念がない」の意)、『不雅』(「俗悪」の意)などあった。そこで、「不潔」と『不干净』、「不潔」と『不贞洁』、「不潔」と『不雅』のペアに対して、同義性判断を行った。判定者は、日中対照研究や日本語教育学が専門の中国人留学生の大学院生3名である。

判定の基準は、判定者が同義である、あるいは、ほぼ同義であると思うものは「○」、全く意味が異なると思うものは「×」、部分的に意味が重なる、あるいは、特定の文脈では意味が近いと思うものは「△」とした。判定は3名が独立に行い、その後、3名の判定結果を統合し、2名以上が一致している判定を採用した。上記の「不潔」の場合であれば、『不干净』は○、『不贞洁』は△、『不雅』は×と判定された。

最後に、「○」は1点、「△」は0.5点、「×」と無答は0点として、調査対象者のそれぞれの意味推測の解答を得点化し、全85語(すなわち、85点満点)について、94名それぞれの得点を計算した。その結果、表2のようになった。平均は9.74点で、11.46%の正答率であった。つまり、今回の調査対象者は、調査対象語の約1割程度しか、正しく推測できなかったということである。

表2 意味推測テストの結果

<i>M</i>	<i>SD</i>	<i>Min</i>	<i>Max</i>	<i>N</i>
9.74	3.11	3	22	94

注1: *M*は平均, *SD*は標準偏差, *Min*は最低, *Max*は最高, *N*は人数を示す。

注2: 満点は85点である。

次に, どのような語が特に推測が容易で, どのような語が困難かを明らかにするために, 各語について通過率(正答率)を確認した。通過率とは当該項目に正答した調査対象者の比率で, 全員が正答なら「1」, 全員が誤答「0」となる。ただし, 今回は, 同義性の判定において○と△を正答, ×と無答を誤答とする二値データを整えてから, 分析を行った。分析の結果, 通過率が「1」の語はなく, 最も通過率が高かったのは, 「不潔」で0.89, 次いで, 「段階」が0.84であった。さらに, 通過率が0.5以上, すなわち, 調査対象者の半分以上が正しく推測できた語は, 「不潔」と「段階」を含めて, 8語しかなかった。反対に, 通過率が「0」となったのは, 以下の35語であった。

植木, 乱暴, 手間, 為替, 気分, 交番, 真似, 勝手, 風船, 大変,  
 厄介, 手品, 役人, 退屈, 格好, 両替, 切符, 割合, 改札, 荷物,  
 記述, 役割, 派手, 風呂, 包丁, 都合, 見事, 余計, 我慢, 真剣,  
 芝居, 見本, 駄目, 面倒, 案内

## 6.2 通過率に基づく分析

次に, どのような語が意味推測に成功しやすいのかを確認するために, 推測の通過率が0.5以上, すなわち, 半数以上の者が正しく推測できた8語について, 検討する(表3)。

表3 通過率0.5以上の8語

対象語	推測通過率 <i>M</i>	推測通過率 <i>SD</i>	評定値 <i>M</i>	評定値 <i>SD</i>	全反応語数 (異なり)	正答 反応語数 (異なり)	正答反応語一覧	無答者数
不潔	0.89	0.31	4.71	0.74	16	10	不干净, 脏, 不纯洁, 肮脏, 不干净的, 不卫生, 不洁, 不纯洁的, 脏的, 脏污	3
段階	0.84	0.37	4.70	0.62	13	1	阶段	2
親類	0.72	0.45	4.12	1.23	23	4	亲戚, 亲人, 亲属, 家人	6
支店	0.60	0.49	4.28	1.03	21	3	分店, 分部, 支行	5
貯金	0.59	0.50	4.45	0.73	37	10	存钱, 存款, 储蓄, 储蓄金, 储存金, 寸垫金, 钱, 储金, 储存金钱, 储存钱, 攒钱	1
屋上	0.59	0.50	4.31	1.03	35	5	屋顶, 房顶, 屋顶上, 楼顶, 楼顶上	1
王女	0.56	0.50	3.99	1.32	26	4	公主, 王的女儿, 国王的女儿, 天皇女儿	2
病氣	0.52	0.50	4.24	0.84	40	3	生病, 生病了, 生病的状态	0
全体	0.66	0.45	4.35	0.94	26.38	5.00		2.50

まず, この8語の反応語のバリエーションを見ると, 最も少ないのが「段階」の13種類, 最

も多いのが「病気」の40種類で、平均すると26.38種類である。上述の通り、85語のバリエーションの平均が39.19種類であったことを考えると、この8語のバリエーションは少なめだと言える。一方、正答と判定された反応語のバリエーションを見ると、「階段」は1種類のみだが、それ以外は3から10種類で、平均5.00種類である。また、無答者数も少なく、1語あたり平均で2.50名である。この値を評価するために、通過率が0.5未満の10語の結果を表4に示す。

表4 通過率0.5未満の10語

対象語	推測通過率 M	推測通過率 SD	評定値 M	評定値 SD	全反応語数 (異なり)	正答 反応語数 (異なり)	正答反応語一覧	無答者数
余分	0.47	0.50	4.11	0.97	39	8	剩余, 剩下的, 多余, 剩余的部分, 剩下的部分, 余下的部分, 剩下的东西, 剩余的	10
今回	0.38	0.49	3.72	1.15	28	8	这次, 这一次, 这回, 本次, 这一回, 这回, 此次, 现在这次	3
半分	0.36	0.48	3.94	1.10	34	1	一半	0
部屋	0.33	0.47	3.57	0.98	31	3	房子, 房间, 屋子	2
弁当	0.27	0.44	2.63	1.46	40	1	便当	14
承知	0.24	0.43	3.13	1.28	33	4	知道, 知晓, 了解, 得知	7
上着	0.24	0.43	2.02	1.19	40	5	上衣, 上装, 上身穿着, 上身的衣服, 上面的衣服	9
背中	0.24	0.43	3.09	1.29	42	6	后背, 背部, 背, 背上, 后脊梁, 脊背	22
祝日	0.17	0.38	3.47	1.27	38	2	节日, 节假日	2
安易	0.15	0.36	2.97	1.08	38	4	容易, 简易, 简单, 简单容易	4
全体	0.29	0.44	3.26	1.18	36.30	4.20		7.30

表4を見ると、通過率0.5未満の中ではこれらの10語は比較的推測ができた語であるが、反応語のバリエーションは30から40程度で、1語当たりの平均は36.30種類で、通過率0.5以上の語よりも10種類ほど多い。一方、正答と判定された反応語のバリエーションは、平均が4.20

表5 通過率0.1台の9語

対象語	推測通過率 M	推測通過率 SD	評定値 M	評定値 SD	全反応語数 (異なり)	正答 反応語数 (異なり)	正答反応語一覧	無答者数
統計	0.12	0.32	3.54	0.97	23	3	时钟, 钟表, 钟	0
退院	0.11	0.31	3.19	1.16	31	1	出院	4
強気	0.11	0.31	3.19	1.16	50	1	强势	10
発想	0.10	0.30	3.34	1.20	37	1	想法	6
免許	0.10	0.30	2.02	1.05	39	2	许可, 许可证	4
月日	0.10	0.30	3.47	1.00	40	1	日期	4
息子	0.09	0.28	2.41	1.19	38	1	儿子	4
残念	0.09	0.28	2.79	1.19	47	2	遗憾, 遗憾的	5
粗末	0.07	0.26	3.02	1.14	49	1	粗糙	13
全体	0.10	0.30	3.00	1.12	39.33	1.44		5.56

で少ない。無答者数は1語平均7.30名で、通過率0.5以上の語よりも3倍程度多い。

さらに、それ以下の通過率の9語を見ると(表5)、反応語のバリエーションは30から50程度で平均39.33種類であるが、そのうち、正答と判定された反応語は平均1.44種類と非常に少ない。これは、推測してはいるものの、その推測は対象者によってバラバラで、かつ、的外れであって正しくないということを表している。

以上のことから、中国語母語話者が比較的正确に意味推測ができる場合は、推測内容が人によってあまり異ならず、全般的に類似した推測をしやすい、ということが言えそうである。

表6 通過率0~0.01の23語

対象語	推測通過率 M	推測通過率 SD	評定値 M	評定値 SD	全反応語数 (異なり)	正答 反応語数 (異なり)	正答反応語一覧	無答者数
下宿	0.05	0.23	4.02	1.05	22	3	借宿, 在别人家留宿, 借宿一下	1
彼女	0.04	0.20	2.60	1.21	41	2	女朋友, 她	7
寸法	0.04	0.20	3.02	1.13	35	1	尺寸	12
歯車	0.04	0.20	2.88	1.22	29	1	齿轮	22
騒音	0.04	0.20	2.36	1.26	48	2	噪音, 噪声	4
子供	0.03	0.18	2.24	1.09	41	3	孩子, 子女, 小孩	8
切手	0.02	0.15	1.17	0.38	46	1	邮票	2
気配	0.02	0.15	1.70	0.77	41	1	气息	18
無料	0.02	0.15	1.91	1.13	59	1	免费	5
大切	0.02	0.15	1.77	0.97	47	2	重要, 重要的	22
頂上	0.02	0.15	2.97	1.25	39	2	山顶, 顶峰	9
一緒	0.02	0.15	2.13	1.11	47	1	一起	16
今度	0.02	0.15	3.71	1.25	18	2	这次, 这一次	3
郵便	0.02	0.15	3.66	1.04	18	1	邮政	5
立派	0.01	0.10	1.56	0.84	48	1	厉害	11
急行	0.01	0.10	3.72	1.04	49	1	快速地铁	4
役者	0.01	0.10	1.50	0.80	50	1	演员	2
行方	0.01	0.10	2.56	1.02	29	1	行踪	13
割引	0.01	0.10	1.59	0.87	46	1	打折	14
返事	0.01	0.10	1.46	0.65	43	1	回复	10
相手	0.01	0.10	1.91	0.92	35	1	对手	8
仲間	0.01	0.10	2.12	1.13	38	1	伙伴	12
苦手	0.01	0.10	2.31	1.15	59	1	不擅长	16
全体	0.01	0.10	2.08	0.94	44.11	1.00		10.00

なお、比較のために、通過率0.1未満0.01以上の23語(表6)、さらに、通過率0.00の全員誤答の35語(表7)についても結果を示しておく(但し、通過率はゼロであり、正答反応語一覧は空欄になるため省略)ので、参照されたい。

表7 通過率0の35語

対象語	推測通過率 M	評定値 SD	全反応語数 (異なり)	正答 反応語数 (異なり)	無答者数	対象語	推測通過率 M	評定値 SD	全反応語数 (異なり)	正答 反応語数 (異なり)	無答者数
交番	0.00	0.63	30	0	1	真似	0.00	1.01	30	0	3
荷物	0.00	1.02	42	0	3	大変	0.00	1.21	32	0	2
風呂	0.00	0.79	47	0	9	派手	0.00	0.50	46	0	10
切符	0.00	0.79	41	0	5	面倒	0.00	0.72	60	0	16
格好	0.00	0.95	40	0	4	厄介	0.00	0.89	34	0	16
手間	0.00	0.74	21	0	1	余計	0.00	1.22	52	0	7
割合	0.00	0.90	41	0	5	手品	0.00	0.81	34	0	4
植木	0.00	1.00	10	0	1	乱暴	0.00	0.98	20	0	1
改札	0.00	0.57	41	0	15	両替	0.00	1.01	40	0	10
勝手	0.00	0.71	31	0	2	見事	0.00	0.67	51	0	12
我慢	0.00	0.59	53	0	20	案内	0.00	0.79	62	0	15
為替	0.00	0.63	23	0	5	気分	0.00	1.02	26	0	11
真剣	0.00	0.69	54	0	11	駄目	0.00	0.55	56	0	23
役人	0.00	1.07	38	0	2	芝居	0.00	0.57	54	0	9
都合	0.00	0.68	51	0	16	退屈	0.00	0.84	38	0	8
風船	0.00	0.82	31	0	5	役割	0.00	0.76	45	0	22
記述	0.00	0.48	43	0	16	見本	0.00	1.00	54	0	25
包丁	0.00	1.09	49	0	14	全体	0.00	0.80	47.33	0.00	15.00

### 6.3 推測が容易な語の特徴

本節では、中国語母語話者にとってどのような語は推測が容易なのかを検討するために、通過率0.5以上の8語(前掲表3参照)を取り上げ、探索的な分析を試みる。なお、分析においては、小森他(2018)、小森(2019)と同様に、日本語については『新潮日本語漢字辞典』、中国語については『現代汉语词典(第6版)』の辞書に記載されている単漢字の意味記述を参照する。

### 6.3.1 「不潔」の意味推測

「不潔」は最も正答者が多く、94名中84名が正答し、通過率も0.89と極めて高かった。調査対象者の反応語の中で正答として判定された語は、解答者の多い順に『不干净』、『脏』、『不纯洁』、『肮脏』、『不干净的』、『不卫(衛)生』、『不洁(潔)』、『不纯洁的』、『脏的』、『脏污』の10語で、正答と判定された反応語のバリエーションが多かった(なお、漢字の同定がしにくい簡体字には( )で日本字体を付す)。このうち94名の調査対象者のうち70名が『不干净』と解答した。一方、誤答については、『失贞』<不贞>(解答者1名、以下同)、『不雅』<下品>、『不光彩的』<不诚实>、『不好』<良くない>、『不好的事』<良くないこと>であった。また、特定の文脈では正答になり得る△の解答には『不贞洁(不貞潔)』<貞操観念が緩く、ふしだらである>(2名)があった。いずれにも否定辞の『不』がついている。

このように、中国語母語話者の約9割が正答できた背景としては、『不』が否定辞であること、および『洁(潔)』には<清洁>という意味しかないためだと考えられる。このように、それぞれの単漢字の意味が限定的であり、それらを組み合わせれば、日本語の意味とほぼ同じになるような語は推測は困難でないということである。特に、一方が「不」のように、文法的な機能を表す漢字(語)の場合には、他方の漢字の意味が多様でなければ、未知の日本語であっても推測は極めて容易だということであろう。

### 6.3.2 「段階」の意味推測

「段階」は94名中79名が正答し、通過率0.84であった。正答と判定された語は、『阶段(階段)』のみであった。すなわち、79名の正答者全員が『阶段』と解答したということである。これは、「段階」が前項漢字と後項漢字の順番を変えれば、正答にたどり着ける語であったため、推測が容易であったと考えられる。小森他(2018)、小森(2019)でも、「制限」や「売買」は『限制』と『买卖(買売)』のような、前項と後項の順番が日本語と反対だというだけで、ほぼ同義と言える語の場合は、通過率が高い傾向があった。

一方、誤答を見ると、前項漢字、あるいは、後項漢字の中国語での形態素としての意味の影響が認められる。例えば、誤答で最も多かったのは『段位』(2名)<レベル、等級>で、さらに類義語の『等级』、『级别』、『层次』(各1名)が解答されていた。これは、中国語の『段』が<レベル、等級>という名詞の意味を持つことによると考えられる。また、『段位』、『等级』、『级别』(いずれも<レベル、等級>の意味)の誤答があったのは、中国語の『段』が長いもの(時間、距離も含む)の一部を数えるときの数量詞として用いられるため、『段』を意味の主要部と捉えにくく、もっぱら『阶(階)』から意味を推測したためだと考えられる。『阶』は一字だけで<レベル、等級>を意味する語である。さらに、『台阶』、『阶梯』のような<階段>の意味の推測があったのも、『阶』一字に<階段>の意味があるためだろう。すなわち、数量詞でない方の『阶』が推測の主要な手がかりとなり、その漢字の形態素としての意味(<レベル>、<階段>)から

推測が行われたと考えられる。

### 6.3.3 「親類」の意味推測

「親類」は68名が正答し、通過率は0.72であった。正答と判定された解答は、『亲戚』、『亲人』、『亲属』、『家人』の4語で、そのうち解答者が30名で最も多かったのは『亲戚』であった。中国語の『亲』には<父母の、親の>という接頭辞としての用法と、<血のつながっている、親しい、近い>などの形容詞の意味がある。また、『类(類)』は日本語と同様に<性質が同じまたは近いグループ、種類、種族>を意味する。この二つの漢字を修飾関係で繋げれば、<血のつながっているグループ>となり、正しく推測することは困難ではない。

一方、誤答と判定された語は、大きく分けて、『一类』(2名)、『同类』(1名)、『相近的门类』(1名)、『相似的类型』(1名)、『相同类别』(1名)のように、<同じ、または類似の型>という意味の語と、『好朋友』(1名)、『亲戚朋友』(1名)のようなく親しい友達、親類縁者>を表す語に分けられた。いずれも、前項漢字の『亲』を<親しい、近い>の意味に同定し、それが後項漢字の『类』を修飾しているという語構成だと捉えたのであろう。

### 6.3.4 「支店」の意味推測

「支店」は56名が正答し、通過率は0.60であった。正答と判定された解答は、『分店』、『分部』、『支行』の3種類であったが、そのうち53名が『分店』と解答した。誤答で多かったのは、『小店』(6名)、『店铺』(5名)、『商店』(3名)、『开(開)店』(3名)、『小卖(売)部』(2名)、『饭店』(2名)であった。

中国語の『支』は日本語の「支」とほとんど同様の意味を有しており、動詞としては<支える、持ちこたえる、支払う>の意味で、接辞としては<中心から分かれた部分>という意味で使われる。一方、『店』は<宿>、および接辞の<～屋>の意味を持つ。誤答を見ると、前項漢字と後項漢字のいずれかの意味だけから推測したか、あるいは前項漢字と後項漢字を修飾関係として捉えたと考えられる。例えば、『店铺』や『商店』と解答した者は、前項漢字の『支』には注意を払わず、後項漢字の『店』を<何らかの店>と考えたのだろうし、『饭店』と解答した者は、『店』の持つ<宿>の意味から推測したのだろう。一方、『小店』や『小卖(売)部』と解答した者は、前項漢字が後項漢字の語構成を修飾関係と捉え、<中心から分かれた店>を連想したのだと考えられる。また、中国語母語話者によると、『开(開)店』も<チェーン店やフランチャイズ店を新たに開く>という解釈が可能とのことで、<中心から分かれた店>という意味に近いと言える。

### 6.3.5 「貯金」の意味推測

「貯金」は55名が正答し、通過率は0.59であった。正答と判定された解答は、『存钱』、『存款』、『储蓄』、『储蓄金』、『储存金』、『存贮(貯)金钱』、『储金』、『储存金钱』、『储存钱财』、『攒钱』

の10語であった。そのうち最も解答者が多かったのは、『存钱』(26名)である。中国語の『貯』も<蓄える, 貯蔵する, 備わる>を意味するため, 後項漢字が前項漢字の補語となる動詞句と捉えれば, <お金を蓄える>という意味は困難なく推測できるであろう。

一方, 誤答を見ると, 『金库』(4名), 『银行』(3名), 『小金库』(2名), 『保险箱』(1名)のように, <蓄えたお金を入れておくところ>と推測した者が多かった。また, 前項漢字だけで意味推測して, 『贮藏』(4名)や『积(積)蓄』(1名)のように<蓄える>と解答した者もいた。そのほかには, いずれも一名であるが, 『私房钱』<へそくり>, 『定金』<手付金>, 『礼金』<ご祝儀>, 『赎金』<身代金>のような, 後項漢字の『金』だけから推測を行った者もいた。

### 6.3.6 「屋上」の意味推測

「屋上」も「貯金」と同様に, 正答者は55名(通過率0.59)であった。正答と判定された解答は『屋顶』, 『房顶』, 『屋顶上』, 『楼顶』, 『楼顶上』の5語であった。最も人数が多かったのは『屋顶』で36名であった。これも語構成としては「屋」の「上」というように, 前項漢字と後項漢字を修飾関係と捉えたことによるのであろう。

誤答では, 『楼上』(5名), 『房屋上层(層)』(1名), 『二楼』(1名), 『二层(層)』(1名)など, <建物・家の内部の上部, 上の階>という場所を表す名詞の語が多かった。これらは, いずれも, 前項漢字と後項漢字を修飾関係で捉えた推測であるが, 『屋』の区切られた空間の中での上部, すなわち<建物の内部の上の部分>と推測したことによる。一方, 『房屋上面』(2名), 『房子上』(2名), 『房子上面』(1名), のように, 建物内の場所ではなく, <建物の上(の空間)に>という方向を推測した誤答もあった。これは「上」を方位詞として逐語的に訳したもので, 特定の具体的な場所は推測できなかったということであろう。

### 6.3.7 「王女」の意味推測

「王女」は53名が正答し, 通過率は0.57であった。正答と判定された解答は, 『公主』, 『王的女儿』, 『国王的女儿』, 『天皇女儿』の4語であった。このうち最も多かったのは, 『公主』で47名であった。こちらも前項漢字と後項漢字を修飾関係と捉えて, 正しく解答できた者が多かったようだ。

一方, 誤答は主に, 「女」だけで推測した解答, および「王」を<大きい, 偉大>と捉え, その「王」が「女」を修飾する構造と考えた解答が多かった。前者の例としては『女儿』(6名), 『女士』(1名), 『女生』(1名), 『儿女』(1名), 『孩子』(1名)などが挙げられる。後者には, 『大女儿』(7名), 『长女』(2名), 『贵族女子』(1名), 『贵妇(婦)』(1名), 『有能力的人』(1名)などがある。

### 6.3.8 「病气」の意味推測

「病气」は49名が正答し, 通過率は0.52であった。正答と判定された解答は『生病』, 『生病了』, 『生病的状态』の3語のみであった。このうち, 46名が『生病』と解答した。

誤答を見ると, 『病态(態)』<異常な状態>(3名), 『气色不好』, 『脸(臉)色不好』<顔色

が悪い> (2名), 『咳』(1名), 『寒気』(1名), 『病症』(1名), 『病情』(1名), 『病容』(1名), のように, 「病気」と言わないまでも, 健康でない様子を表す語の解答が多い。中国語の『病』は<生理的, 心理的に正常でない>を表し, 『气』には「一気味」や「一ぱい」のような接辞としての用法があることから, こうした推測が多かったのだろう。また, 中国語の『气』が<気体, 空気>を表すことから, 『毒气』<毒ガス> (2名), 『有害气体』<有害ガス> (2名) という解答もあった。これらは, 前項漢字が後項漢字を修飾し, 「病」<正常でない>+「気」<気体>として推測した結果だと考えられる。やはり, 中国語の単漢字としての品詞と意味の知識が, 語構成を定め, 意味推測を誘導するためだと考えられる。

ただし, 意味と関わらない推測として, 3名が『摒弃』<捨てる, 諦める>と解答していた。これは, 「病気」を中国語で発音すると /bing qi/ となり, これが『摒弃』の発音と同じであるためだと考えられる。

## 7 おわりに

本研究では, 小森他 (2018), 小森 (2019) を踏まえ, 中国語母語話者にとって和製漢語の意味が推測しやすいのか, どのような語が推測しやすいのかを検討するために, 94名の日本語未習者を対象に, 85語を用いて調査を行った。本稿では, 85語のうち, 半数以上の調査対象者が正しく推測できていた「不潔」, 「段階」, 「親類」, 「支店」, 「貯金」, 「屋上」, 「干女」, 「病気」の8語について, 正答と誤答から, 中国語母語話者の推測の過程や手がかりについて検討した。その結果, (1) 中国語と日本語とで単漢字の意味がほぼ同じであるものは推測しやすいこと, (2) 中国語で文法的な機能語や接辞として用いられることが多い単漢字 (例えば, 「不」, 「親」, 「気」) を含む語は, もう一方の単漢字を意味の主要部として語構成を捉える傾向があること, (3) 後項漢字が名詞である場合には, 前項漢字と後項漢字を修飾関係として意味を捉える傾向があること, (4) 前項か後項かのいずれか一方の漢字だけから推測が行われることが少なくないこと, (5) 音に関連した推測もあること, などがわかった。

今後は, 本稿で論じていない語について考察を進め, 中国語母語話者の和製漢語の意味推測の過程にどのような知識がどう影響しているのかを, さらに検討していきたい。また, 日本語教育への示唆を目指して, 日本語未習の中国語母語話者にとって意味推測がしやすい語ほど日本語学習者は習得しやすいのか, 反対に, 未習者にとって意味推測がしにくい語は学習者にとっても習得が遅れるのかを, 実証していきたい。

## 付記

拙稿は, 2019年度をもって本学部を退官なさる姫野伴子先生に捧げるものです。姫野伴子先生と同じ職場で9年間同僚として仕事できたことは, 筆者にとって一生の財産です。姫野先生が退官なさった後も, 姫野先生を目標に, 教育と研究に精進して参ります。

なお, 調査の準備と実施, さらには, 中国語の分析や考察においては, 明治大学大学院国際日

本学研究科の黄叢叢さんにご協力とご示唆を賜りました。ここに記して感謝申し上げます。

### 参考文献

- 沖森卓也・木村義之・田中牧郎・陳力衛・前田直子（2011）『図解日本語の語彙』三省堂。
- 加藤稔人（2005）「中国語母語話者による日本語の漢語習得—他言語話者との習得過程の違い—」『日本語教育』125, 96-105.
- 茅本百合子（1996）「日本語漢字と中国語漢字の形態的・音韻的差異が中国語母語話者による日本語漢字の読みに及ぼす影響」『広島大学教育学部紀要 第二部』45, 345-352.
- 桑原陽子（2012）「漢字2字熟語の意味推測に及ぼす語構成に関する知識の影響—主要部の位置との関わりから—」『福井大学留学生センター紀要』7, 1-10.
- 国立国語研究所（2006）『現代雑誌200万字言語調査語彙表 公開版』< <https://www.ninjal.ac.jp/archives/goityosa/> >
- 小森和子（2019）「日本語の学習経験がない中国語母語話者は和製漢語をどのように意味推測するのか」『明治大学国際日本学研究』11, 101-122.
- 小森和子・玉岡賀津雄・斉藤浩信・宮岡弥生（2014）「第二言語として日本語を学ぶ中国語話者の日本語の漢字語の習得に関する考察」『中国語話者のための日本語教育研究』5, 1-16.
- 小森和子・早川杏子・三國純子（2018）「中国語母語話者は和製漢語を正しく意味推測できるのか—日本語未習者への調査から—」『中国語話者のための日本語教育』9, 69-83.
- 小森和子・早川杏子・李在鎬・玉岡賀津雄（2017）「日中対照漢字二字熟語データベースの構築と語彙特性の分析に関する研究」『2017年度日本語教育学会秋季大会 予稿集』389-394.
- 崔娉（2015）「日本語の未知漢字語彙の意味推測に見る中国語を母語とする学習者の推測手がかりの利用—漢字語彙の日中対応関係及びL2習熟度の観点から—」『言語文化と日本語教育』50, 61-70.
- 小学館国語辞典編集部（編）（2003）『日本国語大辞典 第二版』小学館。
- 新潮社（編）（2007）『新潮日本語漢字辞典』新潮社。
- 陳毓敏（2003）「中国語を母語とする日本語学習者における漢語習得研究の概観：意味と用法を中心に」『言語文化と日本語教育』増刊特集号, 96-113.
- 陳毓敏（2009）「中国語母語学習者の日本語の漢字習得研究のための新たな枠組みの提案—意味使用の一般性と意味推測可能性を考慮して—」『日本語科学』25, 105-117.
- 野村雅昭（1999）「サ変動詞の構造」森田良行教授古稀記念論文集刊行会（編）『日本語研究と日本語教育』1-23, 明治書院。
- 朴ソンジユ・熊可欣・玉岡賀津雄（2014）「同形二字漢字語の品詞性に関する日韓中データベース」『ことばの科学』27, 53-111.
- 早川杏子・于劭贊・初相娟・玉岡賀津雄（2017）「日中二字漢字語における客観的音韻類似性指標—主観的音韻類似性指標との比較—」『関西学院大学日本語教育センター紀要』6, 21-34.

- 日向敏彦 (1985) 「漢語サ変動詞の構造」『上智大学国文学論集』18, 161-179.
- 文化庁 (1978) 『中国語と対応する漢語』文化庁.
- 文化庁 (1983) 『漢字音読語の日中対応』文化庁.
- 松下達彦 (2009) 「マクロに見た常用漢字語の日中対照研究—データベース開発の過程から—」『桜美林言語研究論叢』5, 117-130.
- 茂木俊伸・山口昌也・丸山岳彦・田中牧郎 (2005) 「語種辞書『かたりぐさ』の開発と月刊雑誌の語種構成分析」『言語処理学会第11回年次大会予稿集』 < [http://www.anlp.jp/annualmeeting/2005/pdf\\_dir/P3-15.pdf](http://www.anlp.jp/annualmeeting/2005/pdf_dir/P3-15.pdf) > .
- 山田忠雄・柴田武・酒井憲二・倉持保男・山田明雄・上野善三・井島正博・笹原宏之 (編) (2012) 『新明解国語辞典 第七版【机上版】』三省堂.
- 熊可欣・玉岡賀津雄 (2014) 「日中同形二字漢字語の品詞性の対応関係に関する考察」『ことばの科学』27, 25-51.
- 中国社会科学院语言研究所词典编辑室 (編) (2012) 『现代汉语词典 第6版』商务印书馆.
- 李行健 (主編) (2014) 『現代漢語規範詞典 第3版』外语教学与研究出版社.